

郷の集い

発行 文芸部
編集 責任者 木本
新郷校 編集 木本

郡 実験 P T A 新郷校で

十二月二日

霊峰白山が雪化粧といそぐ。坂井平野はすっかり刈り取られ、田に働つく人の姿が消えた。農家ではこれから冬籠りの季節である。

十二月二日に郡の実験 P T A と新郷校で行なうことが正式に決った。思ひかえすとこの話が最初でたのは夏まだ暑い七月九日全体委員会の席上であつた。校長先生と P T A 会長さんから話があつた。七月十七日には評議会総会において研究会を催さようが成された。

それから役員一同、仕事にまよ見出してこの事業の準備にあつた。その間合意を重なること大小十数回、母親学級の開催も大回三回と。こうして微力ながらの手で受け入れ態勢はすつかり整つた。

このよう研究機会が本校でめづられることは評議会にとつて近年にない事である。が、私たちが同時にこの集いを成功させなければならぬ美務を願つてゐるのである。

郷の集いの曲り角にきて

新郷校長 吉川 静



郷の集いも月と重なるほど重なるに随つたその発行数が始め考へていた以上にスムーズに皆協力各委員の努力と生徒の協力一致によつて発展して来た事は誠に慶びに堪へません。

今回は郡の P T A 研究会がこの学校でも行ないますので内容を今年の三月のように八頁に作り直しました。始めは郷の集いの内容よりも各委員の原稿を優先して下さることを希望して来ました。けれども自分らの意見と紙に書かされた原稿とにずれが生じている事がありました。一年ずつ学年が違つたのでこの郷の集いも進んでいきにくいものです。

郡 P T A 研修会を迎へて

評議会委員長 吉本忠思

郡 P T A 連合会が全面的指導を受け、郡内 P T A の皆さんの協力を戴いて、郡 P T A 研修会が本校で行なわれる事は当評議会として先づの至りでございます。

我が評議会も、年と大に研さんご積み、郡内の皆さんに見せ出さるまでには至つたことは、心とえに委員の皆さんの日頃の努力のたまものと感謝しております。



女性委員の方には二月月に一回発行するのにより、却落にかえり各委員に決められた事と委員の皆様へ伝へて協力を願うことは大変ですが、この評議会が自分達の力で、日々益々発展するよう努力を願うのであります。そして子どもさんが一年たつて一年ずつ学年が違つたのでこの郷の集いも進んでいきにくいものです。

母親学級の立場

級長 小島幸子

坂井平野の片すみの小さな学校、しかも不便な地へ多数のお客様をお迎へいたしましたことは主上の光栄と大変感謝致しております。

はるばるおかけこびりいただきましたものの御覧のとおり、田圃に包まれた何の变化も無い日本のはたけで、見られる風景のままの平凡な学校でございます。

すべてが皆様の御期待に背くものはかりかと思ひますが、まずいさの中に先生方と手をとり合つて今日まで歩いて来りました私どもの志と感想の一端で御想像願ひます。

毎仕事に忙しなれど、母の立場の母親にとつてどうかして子ども達をよくしてやりたいという希望一同からの希望で月一回母親の集りを先生方の御指導を仰ぎ参りました。が、言はしむことに家の方も学校をよく理解下さりまして、母親学級日にも御指導の御援助を下さり、困り合ひし合ひ、今日の授業参観の事、家庭の事、学校生活の事、平凡な中に先生方と手をとり合つた親のみのある丘のやみ安本当に嬉しく胸にあつたものがこみあげて来ります。お母さんこれ改めて、とテストや教科書を渡されても低学年といふのも頭をいならなければならぬものがあつた。教えることはしなくてはならないと、相談相手に行つてやりたいと願う私達のために、クラブの時間は心の構えをなすべし、習字ローマ字の正しい言葉の練習、音楽、手芸等豊かに明け暮れる私達にとつて唯一の研修の場であり楽しい憩いの場でもあります。本場に日本のごこの学校でも、ごこの地域でも行なわれている事と私達も先生方の御指導を仰いで、同じ道を、同じ方法で平凡ながら実践してゐる一同でございます。

新郷の親の集い

毎仕事に忙しなれど、母の立場の母親にとつてどうかして子ども達をよくしてやりたいという希望一同からの希望で月一回母親の集りを先生方の御指導を仰ぎ参りました。が、言はしむことに家の方も学校をよく理解下さりまして、母親学級日にも御指導の御援助を下さり、困り合ひし合ひ、今日の授業参観の事、家庭の事、学校生活の事、平凡な中に先生方と手をとり合つた親のみのある丘のやみ安本当に嬉しく胸にあつたものがこみあげて来ります。お母さんこれ改めて、とテストや教科書を渡されても低学年といふのも頭をいならなければならぬものがあつた。教えることはしなくてはならないと、相談相手に行つてやりたいと願う私達のために、クラブの時間は心の構えをなすべし、習字ローマ字の正しい言葉の練習、音楽、手芸等豊かに明け暮れる私達にとつて唯一の研修の場であり楽しい憩いの場でもあります。本場に日本のごこの学校でも、ごこの地域でも行なわれている事と私達も先生方の御指導を仰いで、同じ道を、同じ方法で平凡ながら実践してゐる一同でございます。

今後も次代を背負う子供のために先生方を中心として、親と親とが、家庭と家庭とが、取りあひしむことにより、よりよい家庭、つまり社会を願つて一歩一歩進んで行きたいと思ひます。

母親学級の歩み

昭三六七母親たちの自費で盛り上りによって第一回の会を閉じ、以後毎月一回か予開催する。名体も母親学級と改称する。

昭三六八H.H.K.全国放送。土曜社会教育優良団体として表彰される。

昭三六九婦人界で音楽の音気(合唱)と発表。

昭三七〇音楽教育の重要性を自覚し、大太鼓、小太鼓、パイプ木琴等と寄付する。

昭三七一四講座の持ち方を改め、希望によりクラス活動と計画し、八月台まで下つた出席率を向上させるべく努力をする。

昭三七二四今年までの歩みを再検討し、改善計画の研究年度とすることを申し合わせる。

昭三七三六、何れも縛られたくない子どもを本心と向き合わせるのが母の務めであり、子どもの最も幸せかと考へながら、何故か嬉しい気持ちで帰途に着きました。

ある日の母の思ひ
組員 高戸 静代
時々「勉強してね」と願う母にまだ一年生の子は抵抗を感じているのか、或時「大きくはつたら何にやるの？」と尋ねた向ひに「よく遊ばたい」といふ返り答へた子にはびっくりしました。それが本心の真意であることを知りなりました。

クラブ探訪・その1 ことばクラブの巻

母親学級が仕立て八年、地通居研修を続けてきたが、いつのまにか新設校舎
護会のこの集りが都下の注目を浴びるまでに成長した。しかし燈台下暗しと
でもいうべきか部落の片にその本質を知らぬ人々がいるという及面も
ある。今度部PTAの全員を本校に集め、PTAが行なう成人教育の主題
のもとに研究会をいっしょにあたり学級の一主軸ともいべきクラブ活動の状
況を紹介すべく企画してみた。
【編集部】

11月14日。水曜日。朝から身体の小
るえがとまりぬ。毎月一回「今日は
母親学級がある日にやし」と出掛け
るようになってからずいぶん経つが
おめにかかるのは今日が始めて、マ
アマアと氣どど直して出た。それ
にまよはば郷の集いの特派記者、部
落の片に母親学級の様子を直報
道しければ何れは重大使命があ
る。これでけりけりといと心にかツ
入る。

命じられるまへに四年生の教室に入
る。約い私の心臓が「ドッキン」と
おどる。いるいる、徳原三十一君、
机をまわく回んで話し合いの真陸中
である。今更ながら今朝のけをあた
つて未だかつたことが恨まれる。正
面のお母先生は昨日改装に行つた
しい。胸のネクタイもさむぐやかであ
る。

「でわ、次に相手を目指すことばのこ
ころへ移ります。」
「いって話し合いが行なわれた。黒
板をみるあまり上手でけりけりがま
つたぞ。」
「わたしたちの部落のことば」
○自分とことば
○相手とことば
○その他
○発音練習
としてある。何か紙に書きこんで
たものとみかたがら
「のんた」
「お母さん、お父さん」
「いって話している。先生の隣りへ席
をつくつて讀んでみようよ朝からの
音持と少し落つける。ようこそつ
かがいながら先生とボソボソ話す。
何のためかこんなことをしているの
か見当がつかないから質問すると、
ノートと探して一枚の紙を出してき
た。

ことば・クラブ年間計画(略)		
4月	クラス創設	クラブをつくる
5月	子どものことば	今の子と私達の子供の頃
6月	方言	お母さん、お父さん
7月	ことばと生活	生活感情とことば
8月	発音練習	カ行の発音
9月	ことばの混	社会生活の混
10月	新しい敬語	文部局、これか
11月	わたしたちの部落のことば	家庭調査のま
12月	部落のことば	朝の運動
1月	朝のことば	朝の運動
2月	朝のことば	朝の運動
3月	朝のことば	朝の運動

「長町の七曲りは長七曲り、
菖桐菖桐三菖桐、菖桐合せて六菖桐。
歌唄いかきて歌唄えどいうが歌唄い
ぐらう歌唄えれば歌唄うか……」
……
その間をぬつて矢い音がたをけり、
「楽しそうだ。記者もつり愉快に享
て参加してはじつだ。うちの嫁さん
が母親学級に居るといざいぞと出て
行く理由が一つわかつたようだ。少
し母親の方がうらやましくなる。又
親の田畑の仕事の合間にもこんどに
愉快に研究する機会があつてもいい。
終つて退学したの五時頃。つるべ
落しの林の日ほもう落ちた。宵の
道に出て思はずホツと思をつぐ。
平和居農村の一日が静かにくれ
ぬえ、今度は本物だ。
早更三夜帰つて帰つて行つたが、こ
ちりではまだおぼるつもりだ。そ
れにしてもうちの母親学級はよほど
有名らしい。
今度は先生を中心に「口の運動」
とかいつて小学校一年生のようけ
とをやり始めた。
「アエイウエオアオ
カケキケコココ
キャケキケキキキキ
サセシセソソソソ」
……
テニスコーナーがまわつてマイクが
リレーされる。録音して何んでも発
音を直すそうだ。
……
書いて早口ことは、

「ことばをとおして私たちの生活を
明るく豊かにする」
ということをめあてに、色々な題目
をつくつて話し合い、指導者の先生

「されいば花が咲いていきますわ」
でよいのではないうか。こと
ばクラブに入つていけなかつたら、
れりけりことば行あ、と何れ考せば
いせんんだかもしれない。これほど
一例です。
又、子どものことばのつくりです。
学校で先生にはきれいなことばで話
しますが、此後ではきれいなことばで話
くります。これもまた社会の人は
に何んがらば、子どもも大人も
よくなるのでけりけり、ようか。
これからも敬語、敬語の活用法、方
言、発音練習などいろいろクラブ
で勉強して、よい母親に行りたいと
念願しております。



優良校視察 加賀市錦城小学校へ

この頃としては珍しい、秋の八の
十一月十一日、優良校視察が、行なわ
れ、同行させて、いたたく、
九時五十分、登壇の役員、母親
学級のお母さん、お父さん、先生
と、総勢、八十名は、二台のバスに
分乗し、一路、北を、あぐす、
途中、吉崎の、ヘルズセンター前で
休憩、行路の困難を祈って、三十分の
後、再び、車中の人と、なる。
十一時、めがす、錦城小学校に着く
。さっそく、登壇先生より、学校の概
況について、お話を、聞く、
着席した時、大きいと、思ったのも
無理とないです、お話によると、
児童数が、二千六十二名、三十九学
級、PTA会員が、約、千三百名と
のこと、
いろいろ、説明して、いただいたが
その、主なものは、
(1)この学校における、成人教育として
は、一学期に一回、各学年毎に、両
親学級を、開いているが、どうも集
りが、少ないのが、欠点である、
(2)学校における、お金のけがらについては
児童一人あたり一年に、十円ずつ、其
金を積み立て、学校・家庭・医者、の三
者が一体になって、治療に努力する仕
組みになっていて、事務もスムーズ
にとれるようになって、いる、
(3)学校給食は、希望給食のためまえ

と、っており、一年から四年までの、
児童級に対する完全給食を、除いては、
副食なしのパン・ミルク・バター、の
内容で、週一回実施している、
内容で、週一回実施している、
(4)何かにつけ、PTA・婦人会の協力
を得ているが、特にプールの建設、
ミュージックワイレの設置は、児童
の水難防止、体位向上、知やが心
情の育成、校下への放送などにその
真価を發揮して、おり、大いに感謝し
ている、
(5)教員・資料をうまく使えるよう、特
に資料室を設けている、
などの点であった、
このあと、教壇先生の御案内で、校
舎内を巡らせていただいた、

告知板

最近、児童生徒に対する犯罪が、急増し、年々に入って、更に増加する懸
念みです、被害の状況を調べてみると、男子にあっては、暴行、傷害、強姦等
ど、女子にあっては、性的被害、それに伴った傷害、強姦など、びろい、
被害を受けるすまらないうちに、教育委員会、支庁から文書が入って
おりますので、家庭においても、充分注意せられるよう、お知らせします、
留意事項
(1)遅くまで学校において、活動を行ない、帰宅する時刻がおくれたり、深夜
になつたりしないよう、注意すること、
(2)昼間の登校下校の際にも、四、五名以上の集団行動を行ない、絶対に一人歩
きはしないよう、指導すること、
(3)見知らぬ者は、もちろん、いわれのない者から、漫画の本、玩具、学用品、
菓子など、をもらって、連れて行かれたり、自虐に連れていかれるといったよ
うなこと、には、東せられたりすることのないよう、注意を徹底する、
(4)部活のあるいは、自分の家附近で、遊ぶ場合にも、一人あそびはしないこと、ま
た一人、二人の小人、が、遠くへ出かけるに、注意すること、

子どもの顔から

この秋から、宮前の子が、にこ〜
にこ〜している、
「どうしたんや?」
と、聞いたら
「水遊びができた、お湯の水、泳ぎま
ごも、いいんや、
と、また、にこ〜、
水遊びの話なら、河原は全国に知られ
た、河原式大湯懸湯水遊びを、發明したと
ころ、学校で、理屈、よく、反論してくる
子どもは、河原に多い、親子そろって
頭の筋が、似ているらしい、
北本堂に、縁崎、中という子がいる、
部活を、とっているが、非常に真面目
な、いい子である、
この秋、部落に
家の手伝い、をしつかりしよう、
と、ボスターを、貼り、北本堂のよ
子、みんな、おうちの、お手伝いがし
つかり、できた、
おとなしい娘は、角屋の子、
やんちゃ坊主は、中決の子、
しかし、これは、おもてづら、よく
見ると、角屋の子には、芯があり、中
決は、さすが、一ばん、大きな、部落
の子、心の中に、情があり、なにをや
せ、ても、よく、できる、 (H)

PTA日程 (予定)

- 十二月
- 1日 親睦学級
- 2日 郡PTA研究集会(9時)
- 6日 三回PTA大会(明道寺)
- 9日 休業参観(5・6年)
- 全体委員会
- 16日 おやま会
- 21日 会計監査委員会
- 23日 父兄会
- 総会

子ども雑誌の内容について

昨日、町の書屋に、子ども雑誌
の数は、大衆娯楽雑誌や週刊誌と、同
並べ、るくらい、多くの種類がある、ニ
三の教育雑誌は、別に、漫画や、架空
の人物、事件を、主とする、子ども雑
誌が、数多くある、その中には、童心も
マヒさせるに、近いような内容の雑誌が
ある、
〇〇マンとか、Xマンとかの題で、
おもしろい、想像も、つが、行い、仮面
の世界が、創作されている、ある種の、空想
ならば、現代の科学が、除々に、解決する
と思つ、た、く、子供の、好奇心、とある、た
めに、書かれた雑誌は、あまりにも、西
洋意識が、現れ過ぎ、と思つ、子供、の読
書力を、養つた、のには、多くの、マン、が、雑
誌と、読む、ことが、必要、だが、物語り、や、マン
ガの内容、と、低学年、の子供、に、向けた、場
合、は、何が、どう、教、え、たり、より、い、か、返、答、に、答、え、



(富田町区 吉藤 貞二)

